

カリキュラム編成表(授業科目等の概要)

令和3年度 文化・教養専門課程 (日本語学科1年半課程)															
専門・一般	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	担当教員	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法			
				必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	
専門	1	後期	専門	○			総合日本語ⅠA		読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、初級の基礎力構築を図る。特に文法の定着を図る。	300	20	○			
	2	前期	専門	○			総合日本語ⅡA		読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、中級の基礎力構築を図る。	120	8	○			
	2	後期	専門	○			総合日本語ⅡB		読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、中級の基礎力構築を図る。	120	8	○			
	2	前期	専門	○			聴解ⅡA		中級聴解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験聴解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○			
	2	後期	専門	○			聴解ⅡB		中級聴解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験聴解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○			
	2	前期	専門	○			読解ⅡA		中級読解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験読解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○			
	2	後期	専門	○			読解ⅡB		中級読解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験読解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○			
	2	前期	専門		○		作文ⅡA		中級記述能力を習得させ、日本留学試験小論文試験、大学小論文試験での高得点獲得を目指す。	30	2	○			
	2	後期	専門		○		作文ⅡB		中級記述能力を習得させ、日本留学試験小論文試験、大学小論文試験での高得点獲得を目指す。	30	2	○			
	2	前期	専門		○		会話ⅡA		中級発話能力を習得させ、日常生活は勿論、大学・専門学校入試における面接試験で評価される会話を身に付ける。	30	2	○			
	2	後期	専門		○		会話ⅡB		中級発話能力を習得させ、日常生活は勿論、大学・専門学校入試における面接試験で評価される会話を身に付ける。	30	2	○			
	日本語学習サポート	1	後期	専門		○		初級作文ⅠA		総合日本語ⅠAと連動し、身近な話題について書く練習をして、日本語基礎能力を向上させる。	30	2	○		
		1	後期	専門		○		漢字トレーニングⅠA		基礎漢字1000字をマスターする。	30	2	○		
		2	前期	専門		○		能力試験対策ⅡA		能力試験対策に特化した授業	30	2	○		
		2	後期	専門		○		能力試験対策ⅡB		能力試験対策に特化した授業	30	2	○		
		2	前期	専門		○		漢字トレーニングⅡA		中級漢字1500字をマスターする。	30	2	○		
	基礎教養科目の基礎力・応用力を養成する	1	後期	専門		○		日本事情ⅠA		日本社会を生きる上での基礎的教養を身につけると同時に、総合科目の基礎力をつける。	30	2	○		
	生活に適應できる日本語能力を養成する	1	後期	専門		○		生活日本語ⅠA		日本での生活に必要な最低限の日本語を身につける	60	4	○		
	進学するための情報収集と未来設計を日本語を使って行う	2	前期	専門		○		実践日本語ⅡA		進学に必要な文書の読解と文書作成のスキルを習得する。	60	4	○		
		2	後期	専門		○		実践日本語ⅡB		進学に必要な文書の読解と文書作成のスキルを習得する。	60	4	○		
合計									20 科目	1260 単位時間	(84 単位)				

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：1200時間履修	必修科目を取得していること	1学年の学期区分	2 期
		1学期の授業期間	15 週

科目名	総合日本語 I A							学期	後 期		
担当教員	山崎真理子 大田 千津	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	20		
学習目的	日本語の基礎(話す・聞く・読む・書くの4技能)を習得する。特に文法の定着を図る										
授業内容	日本語の初級文法、会話、読解、聴解をバランスよく学ぶ										
学習目標	初級の文法、語彙、表現を使って、コミュニケーションができる。簡単な文章が読め、内容が理解できる。										
使用テキスト	みんなの日本語初級Ⅱ、文型練習帳、初級で読めるトピック25、聴解タスク										
週数	授業計画					事前・事後の学習					
1	みんなの日本語初級Ⅱ 第26課、第27課	【事前】	各課の言葉、予習								
		【事後】	教科書問題、文型練習帳								
2	みんなの日本語初級Ⅱ 第28課、第29課	【事前】	各課の言葉、予習								
		【事後】	教科書問題、文型練習帳								
3	みんなの日本語初級Ⅱ 第30課、第31課	【事前】	各課の言葉、予習								
		【事後】	教科書問題、文型練習帳								
4	みんなの日本語初級Ⅱ 第32課、第33課	【事前】	各課の言葉、予習								
		【事後】	教科書問題、文型練習帳								
5	みんなの日本語初級Ⅱ 第34課、第35課	【事前】	各課の言葉、予習								
		【事後】	教科書問題、文型練習帳								
6	みんなの日本語初級Ⅱ 第36課、第37課	【事前】	各課の言葉、予習								
		【事後】	教科書問題、文型練習帳								
7	みんなの日本語初級Ⅱ 第38課、第39課	【事前】	各課の言葉、予習								
		【事後】	教科書問題、文型練習帳								
8	みんなの日本語初級Ⅱ 第40課、復習	【事前】	各課の言葉、予習								
		【事後】	教科書問題、文型練習帳								
9	みんなの日本語初級Ⅱ 第41課、第42課	【事前】	各課の言葉、予習								
		【事後】	教科書問題、文型練習帳								
10	みんなの日本語初級Ⅱ 第43課	【事前】	各課の言葉、予習								
		【事後】	教科書問題、文型練習帳								
11	みんなの日本語初級Ⅱ 第44課、第45課	【事前】	各課の言葉、予習								
		【事後】	教科書問題、文型練習帳								
12	みんなの日本語初級Ⅱ 復習、第46課	【事前】	各課の言葉、予習								
		【事後】	教科書問題、文型練習帳								
13	みんなの日本語初級Ⅱ 第47課、第48課	【事前】	各課の言葉、予習								
		【事後】	教科書問題、文型練習帳								
14	みんなの日本語初級Ⅱ 第49課	【事前】	各課の言葉、予習								
		【事後】	教科書問題、文型練習帳								
15	みんなの日本語初級Ⅱ 第50課、復習	【事前】	教科書まとめ問題								
		【事後】	復習								
		評価項目/割合		評 価 内 容							
評 価 基 準	1. 課 題	30 %	提出率、丁寧さ、完成度								
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、授業態度(積極性、参加度)								
	3. テストその他	40 %	単元復習テスト、まとめテスト								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
目標 検定・ 課外 授業 実施 予定・ その他	日本語能力試験										

科目名	初級作文 I A						学期	後 期	
担当教員	常勤教員	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	日本語でまとまりのある文、構成を意識した作文を書くスキルを身につける								
授業内容	モデル文を理解し、これを参考にしながら早い段階から、毎回一つのテーマについて作文を書く。								
学習目標	既習の語彙や文型を正しく使い、構成に注意して、あるテーマについて400字程度の作文が書けるようになること								
使用テキスト	やさしい作文								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
16	ユニット9 もし私が二人いたら				【事前】	ユニット9 もし私が二人いたら モデル文を読んでく			
					【事後】	「もし私が二人いたら」 作文			
16	ユニット10 趣味				【事前】	ユニット10 趣味 モデル文を読んでくる			
					【事後】	「趣味」 作文			
16	ユニット11 楽しい1日				【事前】	ユニット11 楽しい1日 モデル文を読んでくる			
					【事後】	「楽しい1日」 作文			
16	ユニット12 日本でびっくりしたこと				【事前】	ユニット12 日本でびっくりしたこと モデル文を読ん			
					【事後】	「日本でびっくりした」 作文			
16	ユニット13 私の夢				【事前】	ユニット13 私の夢 モデル文を読んでくる			
					【事後】	「私の夢」 作文			
17	ユニット14 隣の人にひとこと				【事前】	ユニット14 隣の人にひとこと モデル文を読んでく			
					【事後】	「隣の人にひとこと」 作文			
17	ユニット16 ごみ 国との比較				【事前】	ユニット16 ごみ 国との比較 モデル文を読んでく			
					【事後】	「ごみ 国との比較」 作文			
17	ユニット17 交通 国との比較				【事前】	ユニット17 交通 国との比較 モデル文を読んでく			
					【事後】	「交通 国との比較」 作文			
17	ユニット18 スマートフォン				【事前】	ユニット18 スマートフォン モデル文を読んでくる			
					【事後】	ユニット18 スマートフォン			
17	年賀状				【事前】				
					【事後】	年賀状を書く			
18	ユニット19 私の周りの最近のニュース				【事前】	ユニット19 私の周りの最近のニュース モデル文を			
					【事後】	「私の周りの最近のニュース」 作文			
18	ユニット20 私の国の有名な人				【事前】	ユニット20 私の国の有名な人 モデル文を読んでく			
					【事後】	「私の国の有名な人」 作文			
18	テーマ作文				【事前】				
					【事後】	テーマ作文の下書き			
18	原稿用紙の使い方				【事前】	「テーマ作文」を見直してくる			
					【事後】	原稿用紙に「テーマ作文」を書いてくる			
18	テーマ作文の発表				【事前】	「テーマ作文」の発表の練習			
					【事後】				
	評価項目/割合			評 価 内 容					
評 価 基 準	1. 課 題 50 %			提出状況 完成度 ていねいさ					
	2. 授業姿勢 30 %			出席率 授業中の態度(参加度 積極性)					
	3. テストその 20 %			発表の結果					
目標 検定・ 課外 授業 実施 予定・ その他	日本語能力試験) 日本留学試験・記述								

科目名	漢字トレーニング I A						学期	後 期	
担当教員	石崎美恵子	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	基礎的な漢字やその使い方を言葉や文脈の中で、「読み」、「書き」、「使う」ことを通して、漢字能力や日本語の書き言葉に関する技能								
授業内容	日本語の表記システムや漢字の字形や意味的な特徴を知り、漢字の役割の理解を高めると共に、画数や書き順、形に留意し、練習帳を基に習得								
学習目標	進出漢字の漢字の「読み方」、「使い方」、「書き方」を理解し、段階的に漢字表記の仕方や文脈に沿った漢字の習得をする								
使用テキスト	みんなの日本語 初級 I 漢字ベトナム語版、みんなの日本語初級 II、みんなの日本語初級 I 漢字練習帳、みんなの日本語初級 II 漢字練習帳(総合日本語のテキスト「みんなの日本語								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	ユニット16 の漢字「降 思 寝 終 言 知 動 同 漢 字 方」 関連イラストや漢字を使った文で知り、1読み方 II 書き方 III 使い方 を理解する。さらに、漢字博士のコーナーにより、文脈の中での理解を促進し、繰り返し読み、漢字への興味をもつ。					【事前】	ユニット16を読み新出漢字について知る。		
						【事後】	漢字練習帳初級 I 「読み練習」「書き練習」の反復練習をする。		
2	ユニット17 の漢字「図 館 銀 町 住 度 服 着 音 楽 持」 関連イラストや漢字を使った文で知り、1読み方 II 書き方 III 使い方 を理解する。さらに、漢字博士のコーナーにより、文脈の中での理解を促進し、繰り返し読み、漢字への興味をもつ。					【事前】	ユニット17を読み新出漢字について知る。		
						【事後】	漢字練習帳初級 I 「読み練習」「書き練習」の反復練習をする。		
3	ユニット18 の漢字「春 夏 秋 冬 道 堂 建 病 院 体 運 乗」 関連イラストや漢字を使った文で知り、1読み方 II 書き方 III 使い方 を理解する。さらに、漢字博士のコーナーにより、文脈の中での理解を促進し、繰り返し読み、漢字への興味をもつ。					【事前】	ユニット18を読み新出漢字について知る。		
						【事後】	漢字練習帳初級 I 「読み練習」「書き練習」の反復練習をする。		
4	ユニット19 の漢字「家 内 族 兄 弟 奥 姉 妹 海 計」 関連イラストや漢字を使った文で知り、1読み方 II 書き方 III 使い方 により、漢字の理解を深める。さらに、漢字博士のコーナーにより、文脈の中での理解を促進し、繰り返し読み、漢字への興味を高める。					【事前】	ユニット19を読み新出漢字について知る。		
						【事後】	漢字練習帳初級 I 「読み練習」「書き練習」の反復練習をする。		
5	ユニット20 の漢字「部 屋 室 窓 開 閉 歌 意 味 天 考」 関連イラストや漢字を使った文で知り、1読み方 II 書き方 III 使い方 を理解する。さらに、漢字博士のコーナーにより、文脈の中での理解を促進し、繰り返し読み、漢字への興味を高める。					【事前】	ユニット20を読み新出漢字について知る。		
						【事後】	漢字練習帳初級 I 「読み練習」「書き練習」の反復練習をする。		
6	ユニット21 「初級1 第2版 漢字」で学習した漢字の復習をする。字形に注意しながら学習する。 文の中に既習漢字が使用してある。文を書き漢字の意味の理解を高める					【事前】	ユニット21を読み既習漢字をノートに書く。		
						【事後】	ユニット21の漢字を使った文をノートに書き反復練習をする。		
7	ユニット22 「初級1 第2版 漢字」で学習した漢字の復習をする。字形に注意しながら学習する。 文の中に既習漢字が使用してある。文を書き漢字の意味の理解を高める					【事前】	ユニット22を読み既習漢字をノートに書く。		
						【事後】	ユニット22の漢字を使った文をノートに書き反復練習をする。		
8	ユニット23 「みんなの日本語 初級 I 第2版」で学習した語彙と関連した漢字の学習をする。既習漢字を別の語彙でも学習し漢字の理解を高める。					【事前】	ユニット23を読み既習漢字をノートに書く。		
						【事後】	ユニット23の漢字を使った文をノートに書き反復練習をする。		
9	ユニット24 の漢字「試 験 問 題 答 耳 用 始 研 究 台」 関連イラストや漢字を使った文で知り、1読み方 II 書き方 III 使い方 を理解する。さらに、漢字博士のコーナーにより、文脈の中での理解を促進し、繰り返し読み、漢字への興味を高める。					【事前】	ユニット24を読み新出漢字について知る。		
						【事後】	ユニット24の漢字を使った文をノートに書き反復練習をする。		
10	ユニット25 の漢字「飯 場 正 世 界 急 特 県 低 弱 不」 関連イラストや漢字を使った文で知り、1読み方 II 書き方 III 使い方 を理解する。さらに、漢字博士のコーナーにより、文脈の中での理解を促進し、繰り返し読み、漢字への興味を高める。					【事前】	ユニット25を読み新出漢字について知る。		
						【事後】	ユニット25の漢字を使った文をノートに書き反復練習をする。		
11	ユニット26 の漢字「議 駐 帽 横 市 役 所 拾 捨 遅 遠 歳」 関連イラストや漢字を使った文で知り、1読み方 II 書き方 III 使い方 により、漢字の理解する。さらに、漢字博士のコーナーにより、文脈の中での理解を促進し、漢字への興味を高める。					【事前】	ユニット26を読み新出漢字について知る。		
						【事後】	ユニット26の漢字を使った文をノートに書き反復練習をする。		
12	ユニット27 の漢字「声 具 鳥 夢 波 末 座 走 登 修 願 階」 関連イラストや漢字を使った文で知り、1読み方 II 書き方 III 使い方 を理解する。さらに、漢字博士のコーナーにより、文脈の中での理解を促進し、繰り返し読み、漢字への興味を高める。					【事前】	ユニット27を読み新出漢字について知る。		
						【事後】	ユニット27の漢字を使った文をノートに書き反復練習をする。		
13	ユニット28 の漢字「形 品 力 熱 心 経 景 色 眠 説 選 通」 関連イラストや漢字を使った文で知り、1読み方 II 書き方 III 使い方 を理解する。さらに、漢字博士のコーナーにより、文脈の中での理解を促進し、繰り返し読み、漢字への興味を高める。					【事前】	ユニット28を読み新出漢字について知る。		
						【事後】	ユニット28の漢字を使った文をノートに書き反復練習をする。		
14	ユニット29 の漢字「番 号 袋 忘 落 汚 洗 付 覚 調 取 辺 側」 関連イラストや漢字を使った文で知り、1読み方 II 書き方 III 使い方 を理解する。さらに、漢字博士のコーナーにより、文脈の中での理解を促進し、繰り返し読み、漢字への興味を高める。					【事前】	ユニット29を読み新出漢字について知る。		
						【事後】	ユニット29の漢字を使った文をノートに書き反復練習をする。		
15	ユニット30 の漢字「皿 隅 机 引 箱 置 片 復 予 約 並 連 絡」 関連イラストや漢字を使った文で知り、1読み方 II 書き方 III 使い方 を理解し、さらに、漢字博士のコーナーにより、文脈の中での理解を促進し、繰り返し読み、漢字への興味を高める。					【事前】	ユニット30を読み新出漢字について知る。		
						【事後】	ユニット30の漢字を使った文をノートに書き反復練習をする。		
評価基準	評価項目/割合		評価内容						
	1. 課題	40 %	正確な読み 字形の識別力 字形を正確に書く力 言葉や文脈の中での読みや使う力 練習帳の提出状況や達成状況						
	2. 授業姿勢	30 %	ノートの記述状況 講義への集中度 出席率						
	3. テストその他	30 %	確認テストによる習得状況 学期末テストによる習得状況						
目標検定・課外授業実施予定・その他	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。 日本語能力試験(7月、12月)								

科目名	日本事情 I A						学期	前 期	
担当教員	旭 健志	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	日本に対する理解を深め、有意義な留学生活を送るための一助とする。								
授業内容	平均的な日本人像と日本の地理について学習する。								
学習目標	日本ででの生活に必要な知識や技能を理解し、ルールやマナーを守れるようになる。日本の現代社会に関するいくつかの項目について理解し、答								
使用テキスト	日本総論 I								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	日本総論 I 1課 新しい生活	【事前】	1課を読んでくる						
		【事後】	1課の練習問題						
2	日本総論 I 2課 家の周り	【事前】	2課を読んでくる						
		【事後】	2課の練習問題						
3	日本総論 I 3課 安全管理	【事前】	3課を読んでくる						
		【事後】	3課の練習問題						
4	日本総論 I 4課 家	【事前】	4課を読んでくる						
		【事後】	4課の練習問題						
5	日本総論 I 5課 食事	【事前】	5課を読んでくる						
		【事後】	5課の練習問題						
6	復習 中間テスト	【事前】	1～5課の復習をしてくる						
		【事後】	出題内容の見直し						
7	日本総論 I 7課 日本の国土（国土、海流）	【事前】	7課を読んでくる						
		【事後】	7課の練習問題						
8	日本総論 I 7課 日本の国土（地方区分、主要都市）	【事前】	7課を読んでくる						
		【事後】	復習プリント						
9	日本総論 I 7課 日本の国土（気候、人口）	【事前】	7課を読んでくる						
		【事後】	プリントの見直し						
10	日本総論 I 8課 ライフサイクル（日本人の一年）	【事前】	自国の1年について言えるように準備						
		【事後】	復習プリント						
11	日本総論 I 8課 ライフサイクル（日本人の一生）	【事前】	自国の人の一生について言えるように準備						
		【事後】	復習プリント						
12	日本総論 I 9課 日本の文化	【事前】	日本独自の文化（芸能やスポーツ）について調べておく						
		【事後】	復習プリント						
13	復習	【事前】	前期で勉強したことを復習しておく						
		【事後】	復習プリント						
14	期末テスト	【事前】	テスト勉強						
		【事後】	テストでできなかった箇所を確認しておく						
15	テスト直し	【事前】	テストでできなかった箇所を確認しておく						
		【事後】	テストでできなかった箇所を確認しておく						
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題	20 %	課題や各種書類の提出状況						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、授業中の態度、忘れ物の有無						
	3. テストその他	50 %	学内外の各種行事や活動への参加状況						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	生活日本語 I A						学期	後 期		
担当教員	旭 健志	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2	
学習目的	日本の様々なルールやマナーを理解し、日本の社会や学校生活にうまく適応できるようになる。									
授業内容	日本での生活、学校生活に必須の日本語と情報を提供し、マナー指導を行う。									
学習目標	ルールやマナーを守り、諸活動に参加できる。また私生活やバイト先でも安定した人間関係を維持し、日本の社会に順応する。									
使用テキスト	なし（適宜プリントなど）									
週数	授業計画					事前・事後の学習				
1	進学について						【事前】			
							【事後】	書類、ファイル提出		
2	能力試験対策						【事前】			
							【事後】	書類、ファイル提出		
3	能力試験対策						【事前】			
							【事後】	書類、ファイル提出		
4	能力試験対策						【事前】			
							【事後】	書類、ファイル提出		
5	日本語能力試験 模擬試験①						【事前】			
							【事後】	書類、ファイル提出		
6	能力試験対策						【事前】			
							【事後】	書類、ファイル提出		
7	日本語能力試験 模擬試験②						【事前】			
							【事後】	書類、ファイル提出		
8	面談						【事前】			
							【事後】	書類、ファイル提出		
9	面談						【事前】			
							【事後】	書類、ファイル提出		
10	冬休みの過ごし方について						【事前】			
							【事後】	書類、ファイル提出		
11	クラス活動						【事前】			
							【事後】	書類、ファイル提出		
12	地域貢献活動						【事前】			
							【事後】	書類、ファイル提出		
13	春休みの過ごし方について						【事前】			
							【事後】	書類、ファイル提出		
14	自己分析とその方法						【事前】			
							【事後】	書類、ファイル提出		
15	自己分析と適職						【事前】			
							【事後】	書類、ファイル提出		
		評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題	50 %	課題や各種書類の提出状況							
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、授業中の態度、忘れ物の有無							
	3. テストその他	20 %	学内外の各種行事や活動への参加状況							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他										

科目名	生活日本語 I A						学期	後 期	
担当教員	旭 健志	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	日本の様々なルールやマナーを理解し、日本の社会や学校生活にうまく適応できるようになる。								
授業内容	日本での生活、学校生活に必須の日本語と情報を提供し、マナー指導を行う。								
学習目標	ルールやマナーを守り、諸活動に参加できる。また私生活やバイト先でも安定した人間関係を維持し、日本の社会に順応する。								
使用テキスト	なし（適宜プリントなど）								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
16	進路指導①（将来の夢と学校生活）	【事前】							
		【事後】	書類、ファイル提出						
16	進路指導②（検定試験と学習）	【事前】							
		【事後】	書類、ファイル提出						
16	進路指導③（模擬試験の実施①）	【事前】							
		【事後】	書類、ファイル提出						
16	進路指導④（模擬試験の実施②）	【事前】							
		【事後】	書類、ファイル提出						
16	進路指導⑤（進路計画の再検討）	【事前】							
		【事後】	書類、ファイル提出						
17	多読活動について	【事前】							
		【事後】	書類、ファイル提出						
17	多読活動と進路面談①	【事前】							
		【事後】	書類、ファイル提出						
17	多読活動と進路面談②	【事前】							
		【事後】	書類、ファイル提出						
17	多読活動と進路面談③	【事前】							
		【事後】	書類、ファイル提出						
17	多読活動と進路面談④	【事前】							
		【事後】	書類、ファイル提出						
18	地域理解・貢献の意義	【事前】							
		【事後】	書類、ファイル提出						
18	地域を知る①	【事前】							
		【事後】	書類、ファイル提出						
18	地域を知る②	【事前】							
		【事後】	書類、ファイル提出						
18	地域貢献活動	【事前】							
		【事後】	書類、ファイル提出						
18	春休みの過ごし方について	【事前】							
		【事後】	書類、ファイル提出						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 50 %	課題や各種書類の提出状況							
	2. 授業姿勢 30 %	出席率、授業中の態度、忘れ物の有無							
	3. テストその他 20 %	学内外の各種行事や活動への参加状況							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									